

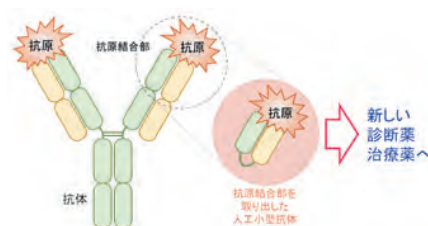
#抗原結合部 #人工小型抗体

薬学部
薬学科

小型抗体が 変える 医療の未来

人工小型抗体の可能性を探り、病気の診断や治療に活かす

抗体は体内に侵入した異物に対してつくられ、特異的に認識・識別し排除するようにはたらく分子です。最大の特徴である特異性を担っている抗原結合部に着目し、この部位を取り出してつくられた分子を人工小型抗体といいます。私たちは、人為的に人工小型抗体そのものを改良したり、別の小型抗体分子や薬物を連結させたりすることで新しい抗体分子を創り出し、これまで困難であった病気の診断や治療に活かすことをめざして研究を進めています。



抗体の抗原結合部を取り出してペプチドリンカーでつないだ人工小型抗体をつくります。新たな治療薬や診断薬の開発につなげたい。



(左)人工小型抗体の調製中にその精製度を調べるための電気泳動の実験をしているところ。(右)タンパク質を染色したゲルの写真。

田所 高志 講師

TADOKORO, Takashi

- 博士(工学)
- 物理化学系
生命物理化学分野



趣味はスポーツをすることとスポーツ観戦です。写真は留学中にメジャーリーグの試合観戦をしたときの一枚です。

